

令和元年度 関西福祉科学大学高等学校 学校運営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- ・建学の精神「感恩」の実践、校訓「明朗・友愛・誠実」を生かした校風を確立する。
- ・基本的生活習慣を身につけ、優れた教養と学力をそなえた生徒を育てる。
- ・感謝の心を持った豊かな情操を育み、自立心のある人の育成を図る。

2 中期的目標

1 教育の質向上

- (1) 授業の質向上、学習成果の可視化(〇〇ができるようになる)
 - ・わかる授業ときめ細やかな学習指導の実践
 - ・授業アンケートや公開授業等を活用し、授業の質の向上を目指す。
 - ・ICT機器(教室にある電子黒板機能付きのプロジェクター)やICT教室を活用し、より「わかる授業」の実践を進める。
 - ・3時間/週の授業外学習100%を目標に学習習慣の定着を図る。

- (2) 卒業率96%以上

- ・入学した生徒全員を卒業させるためにも、高校生活満足度調査の結果を検証、今後の課題を検討し、改善策を全体で共有する。

- (3) 教員のスキルアップ

- ・教科の研修やICT機器の活用、外部模試の活用方法、生徒のやる気をいかに持たせるかなど学内学外を問わず、様々な場面、機会を通じて研修を進める。

- (4) 進路実績の向上

- ・特別進学Ⅰコースを中心に、特別進学Ⅱコースからの合格者も含め、関関同立20名と産近甲龍50名(延べ数)の合格を目指す。

- (5) 課外活動・クラブ活動の充実

- ・課外活動を充実させ、昨年度のクラブ入部率48.1%を55%以上となることを目指す。

- (6) グローバルな視点での教育の実践

- ・異文化理解、人権、平和などのテーマを通して、世界規模で物事を考える発想を身につけさせる。

2 組織安定

- ・教育力の向上と積極的な広報活動により、生徒数1000名を堅持できるように努める。

3 教育環境の充実(安全 安心 快適 ECO)

- (1) 校内生活および学習環境の整備

- ・新校舎での生活がスタートし3年目を迎え、整備された学習環境を積極的に活用する。
 - ・学園食堂「Tama Café」が完成(学生・生徒が、使い易く居心地の良い「快適空間」を目指す)。
 - ・高校グラウンド人工芝工事の実施。
 - ・高校3号館耐震補強工事の実施。

- (2) 生徒の自主的な活動によるエコの実践

- ・日常の生活の中で省エネ教育を実践する。

4 地域共生 社会に愛され成長する学園

- (1) 地域貢献活動の実践

- ・全校生徒を対象とした地域周辺の美化活動の実践を継続する。
 - ・市民フェスティバル、交通安全啓発運動など地域主催行事へ積極的に参加する。

- (2) 地域連携公認プログラムの推進

- ・地域連携公認プログラム「歴史・科学の市民講座」、「卓球・バレーボール教室」(通年)を地域のこどもたちが多数参加できるように継続して実施する。

5 学園総合力の向上(学園ファミリー意識)各学園(職員)の相互協力 尊重 豊かな職場

- ・併設の大学、短期大学、幼稚園との連携を密にし、学園総合力を向上させる。

- (1) 内部進学の充実と促進(学年30%以上目標)

- ・具体的には大学、短期大学との連携で進路意識を高めるプログラムを実践する。

- (2) 子息兄弟姉妹の入学促進

- (3) 併設校園との連携教育の推進

- ・保育進学コースについては、短期大学教員による週1時間の保育に関する知識、技能を身につける授業を実施する。

- ・併設幼稚園では、複数回保育実習を実施する。

3 本年度の取組内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	学校自己評価	学校関係者 評価委員会 の評価
1 教育力の質の向上	(1)授業の質向上	(1) 年度当初に各教科・各授業に対し「年間授業計画」を作成する。教科内で確認の上、教務、管理職でも確認のもと授業を進める。各学期終了後、実施内容、進度、考査結果の状況など確認し、次学期に役立てる。 ・授業アンケート(7月:1 学期末考査後実施)の結果を基に各教員、教科内で検証「わかる授業」の実践に取組む。 ・学外の ITC 研修などにも積極的に参加し、公開授業を通して、内容を教科で共有する。 ・3 時間/週の授業外学習 100%を目標に学習習慣を定着させ、学力向上に繋げる。	(1) 授業アンケートの総体平均値が 75 点となること。 ・3 時間/週の授業外学習を 100% 定着させること。	(1) 授業アンケートでの平均が76. 9点(昨年度75. 5点)、目標値に到達した。ICT機器活用の成果が出てきている。今後さらに「わかる授業」のためのスキルを身につける。(○) ・授業外学習 3 時間/週(1 日平均 30 分以上)している生徒は、60. 9% (昨年度 52.3%) であった。進路、教科による具体的な取り組みを実施する。(△)	今後更なる努力を期待する。(○) 小テスト、宿題などの活用に期待する。(△)
	(2) 卒業率96%以上	(2) 卒業率 96% 以上を実現する。 ・高校生活満足度調査(10月:2 学期中間考査後実施)について、職員会議で結果を報告の後、関係部署で検証し、今後の課題を検討、改善策を全体で共有する。	(2) 卒業率 96% 以上を実現する。 ・「学校生活の充実度」の肯定的回答率が 65% 以上であること。	(2) 卒業生は、308 人(入学時 324 人)、卒業率は 95.1% であった。(△) ・「学校生活の充実度」の肯定的回答率 62.0%(昨年度 59.8%) であった。今後も継続してコースの課題に取り組んでいきたい。(△)	卒業率向上のため努力に期待する(△) 生徒が充実できる学校生活を期待する。(△)
	(3)教員のスキルアップ	(3) 教科の研修や ICT 機器の活用、外部模試の活用方法、生徒のやる気をいかに持たせるなど学内学外を問わず、様々な場面、機会を通じて研修を進める。	(3) 教科の研修、外部模試活用研修、人権研修など実施すること。	(3) (株)ベネッセによる研修 2 回。人権研修。教科毎に授業研究実施。(△)	良好と評価できる。(○)
	(4)進学実績の向上	(4) 進路指導部を中心に進路指導計画を策定の上、各教科学年との連携を基に指導を行う。	(4) 卒業生徒の進路決定率 100%。 ・閑閑同立 20 名と産近甲龍 50 名以上の合格(延べ数)。	(4) 進路決定率 98. 1% (昨年度 96. 5 %)(△) 閑閑同立 5 名合格(昨年度 10 名) 産近甲龍 50 名を初めて達成(昨年度 43 名)(延べ数)。(△)	生徒の満足する進路決定と進学率の向上を期待する。(△)
	(5)課外活動・クラブ活動の充実	(5) 生徒会と各クラブが連携し、クラブ紹介の方法を回数も含め工夫する。また積極的にクラブ体験を受け入れるようにする。 ・生徒会行事について見直しをすすめ、生徒会担当教員で検討の上充実させる。	(5) クラブ入部率 55% 以上であること。	(5) 文化系、運動系共に活発に活動し、近畿大会出場などの結果を残した。クラブ入部率は、50.7%(昨年度 48.1%) 順調に伸びているが、55%には届かなかった。(△)	活発な課外活動、クラブ活動の活性化を望む。(△)
	(6)グローバルな視点での教育の実践	(6) 英語検定を積極的に受験させる。 ・異文化交流や異文化理解できる行事を検討する。	(6) 英語検定を積極的に受験させる。 ・総合的な学習の時間に異文化理解の講座を設ける。	(6) 年間受験者 511 名 2 級合格 11 名 準 2 級 38 名合格(昨年度 384 名 2 級合格 15 名、準 2 級 44 名合格) 受験者は、大幅に増加した。(○) ・海外青年協力隊の方より講演など実施(△)	積極的な取り組みが評価できる。(○)
2 組織安定	組織安定	・入試広報部と運営委員により構成される「入試委員会」で対外的な募集・広報活動計画と校内における入試説明会、体験入学のプランを策定し、全教職員で内容を共有する。	・入試説明会、体験入学の参加人数が昨年度の 2575 名を上回ること。 ・新入生 350 名、生徒総数 1000 名を堅持すること。	・今年度の学校・入試説明会、体験入学の参加人数は、計 2717 人で昨年比 142 人増加した。(○) ・令和 2 年 4 月の生徒総数は 1127 名(昨年度 1077 名)、新入生 383 名(昨年度 413 名)を迎えることが出来た。(○)	良好と評価できる。(○) 良好と評価できる。(○)
3 教育環境の充実	(1)校内生活および学習環境の整備 (2)生徒の自主的な活動によるエコの実践	(1)高校グラウンド人工芝工事の実施。 ・高校 3 号館耐震補強工事の実施。 (2)日頃から「ものを大切にする意識」、「省エネの意識」を、教職員、生徒の間で話題にする。	・計画を無事完了すること ・エアコン夏 25°C、冬 22°C に設定	・計画事項を無事完了。(○) ・さらなる意識改革が必要(△)	良好と評価できる。(○) 省エネ意識をもたせること。(△)

4 地域貢献	(1)地域貢献活動の実践	(1)生徒会美化委員会が主催する、本校の伝統である「美化ボランティア」清掃活動を今年度も実施する。1回目は全校生徒(希望者)対象で6月上旬実施、2回目は学年毎に1年(10月)2年(11月)を予定する。	(1)計画通り実施する。	(1)計画通り実施できたが、次年度はさらに良いものを目指し、検討する。(○)	良好と評価できる。(○)
	(2)地域連携プログラムの推進	(2)地域と連携し、市民講座・スポーツ教室を実施する。 ・歴史・科学の市民講座を実施する。 ・卓球・バレー・ポールのスポーツ教室を実施する。 ・地域の市民フェスティバルに参加する。	(2)予定通り参加する。	(2)予定通り実施。(○) 歴史講座15名、科学講座14名参加。 卓球教室 年間12回24名、 バレー・ポール教室 年間15回58名参加。市民フェスティバルに参加。	良好と評価できる。(○)
5 学園総合力の向上	(1)内部進学の充実と促進(学年3割以上目標) (2)子息女兄弟姉妹の入学促進 (3)併設校園との連携教育の推進	(1)学園内大学・短期大学入試ガイダンスを実施する。 ・PTA主催併設大学・短大見学会を実施する。 (2)日常の教育活動を通して、本学園のファンを増やす。 (3)大学・短大・幼稚園と連携し、担当者会議を行い、これまでの取り組み内容をベースに、課題や改善点を見いだし、より良い取り組みを作り上げる(保育進学コース授業、保育実習など)。	・併設大学・短大への進学者100名以上。 ・実施内容と生徒の満足度を基準とする。	・併設大学・短大への進学者数76名(昨年度125名)。(×) ・説明会の感想や実習後のアンケート内容ともに良好。	学園の魅力を発信する(×) 良好と評価できる。(○)

4 学校教育自己診断の結果と分析

学校教育自己診断の結果

(1)建学の精神・校訓

- ・高い評価の項目
「建学の精神『感恩』が生徒によく理解されている」(90.2%)
「校訓『明朗 誠実 友愛』が生徒によく理解されている」(87.5%)

(2)学習・進路

- ・高い評価の項目
「学習到達度の低い生徒に手厚い指導を行っている」(81.3%)
「進路に関する相談はきめ細かくなされている」(81.3%)
「各種検定試験に合格するための指導が関係教科でなされている」(93.8%)
- ・低い評価の項目
「進学補講の参加者は熱心に参加している」(68.8%)
・今年度より進学補講に英検対策講座を設けるなどやる気を持たせる内容を取り入れた。教員は、積極的に研修を受け、内容を教科で共有し、一人ひとりがスキルアップする。ICT機器を活用し、より「わかる授業」を実践していく。小テストや週末課題などにより授業外学習を増やし、学習習慣の定着を図る。

(3)課外活動・クラブ活動

- ・高い評価の項目
「生徒会活動は活発に行われている」(100.0%)
「部活動は全般にわたって活発に行われている」(100.0%)
「学校行事は生徒にとって魅力あるものとなっている」(100.0%)
- ・グラウンドの人工芝化や指導教員の充実を図るなどクラブ活動の環境を整え、クラブ入部率を増加させる。課外活動・クラブ活動を活発にし、高校生活が充実するように導く。また、「学校は楽しい」と実感できるようなより魅力的な行事を検討する。

(4)生徒指導・教育相談

- ・高い評価の項目
「制服の着用、頭髪等身だしなみを整えるよう指導を徹底している」(100.0%)
「生徒指導において、家庭と緊密な連携が出来ている」(100.0%)
「早期指導(個人面談、HR指導、初期対応など)に学校全体で取組んでいる」(93.8%)
「体調不良等心身の悩みを訴える生徒に対して、親身に対応している」(100.0%)
- ・生徒指導部が中心となり夏服を改定した。さらに、今後も家庭と連携し、面倒見の良い教育を実践していく。

(5)情報公開

- ・高い評価の項目
「本校はホームページで保護者の知りたい情報を発信している」(75.0%)
- ・低い評価の項目
「保護者、中学校、塾等に普段の授業をよく公開している」(54.1%)
- ・全体的な情報公開について
PTA総会の日に授業参観を実施。また、塾対象説明会でも授業を公開した。授業参観を通して、学校や子どもの教育に关心を持って頂き、連携して教育活動を進めていきたい。
ホームページをリニューアルし、体育祭、文化祭はもちろん、普段の学校生活や修学旅行、学習合宿などもタイムリーに公開した。さらに、校内設置のデジタルサイネージでは、委員会活動やクラブ活動の結果報告を日々更新した。

(6)施設・設備・その他全般

- ・高い評価の項目
「施設・設備は充実している」(100.0%)
「教員はチームワークがとれており、どの教員も一貫した対応をしてもらえる」(93.8%)
「どの教員も相談しやすく、誠実に対応してくれる」(100.0%)
「子どもをこの学校に入学させてよかった」(100.0%)

5 学校関係者評価委員会からの意見

【改善が必要な内容】

- ・クラブ活動の後総合体育館から出てくる生徒が、道いっぱいになり通行の妨げになっている。先輩が後輩に、気がついた人が他の人に、「横へ寄って」と声を掛け合えるようになれば、より安全な通行が出来るようになると思う。
- ・登下校時に道いっぱいに広がって歩いていたり、並走や2人乗りの自転車で通学している生徒を見かける。桜並木には小学生の登校や通勤の自動車、歩行者が重なり危険な状態である。定期的に登下校指導を実施して欲しい。
- ・人數が多いのは仕方ないが、周りを意識する気配りを身につけてほしい。自分の事や親しい友人の事だけに夢中になり、周りに关心がない。学校生活やクラス内でも同じようになっていないか心配だ。

【評価された内容】

- ・人工芝のグラウンドができて、景色が変わりグランド全体が整備されスポーツしたい気持ちになるだろう。体育の授業を見ていると、生徒がより活発に取り組んでいるように感じる。
- ・生徒は、学習環境が年々整備され、恵まれた環境で授業を受けることができている。
- ・制服の着こなしや身だしなみが、以前に比べると大変美しくなった。落ち着いた生徒が増えてきたように思う。
- ・地域の清掃活動については、たくさんの生徒が参加し、意識が変わればと思うので、是非続けて欲しい。
- ・クラブ活動が活発になってきたからか、普段の学校内も活気が感じられる。
- ・英検受験者の人数が増えているのは良いことだと思う。進学や就職でも英語は必要になるので、ぜひ継続して欲しい。
- ・保護者向けの連絡ツールは、緊急時・災害時など安心できるので続けて欲しい。
- ・久しぶりの登校日に教員が、生徒に向けて熱いメッセージを掲げておられた様子がホームページに載っていた。生徒一人ひとりを大切にし、親身になって「面倒見のいい」教育を実践されていることが伝わってきた。

貴重な意見を参考にさせて頂き、保護者や地域の方々の協力も得ながら、教職員全員で課題改善に向け努力して取り組んでいきたい。